

年月日	22	07	26	ページ	19	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--

# CO<sub>2</sub>削減でリース安く

## SFLLダイヤモンド電機と契約

三井住友ファイナン  
ス&リース(SMF  
L)は、二酸化炭素  
(CO<sub>2</sub>)排出量削減  
目標の達成でリース料  
金を優遇する「サステ  
ナビリティ・リンク・  
リース(SLL)」の  
対象範囲を生産設備な  
ど一般リース物件にも  
広げる。リース業界で  
は従来、船舶や航空機  
といった特定のリース  
物件を対象にしたSLL  
が主流だった。対象  
を生産設備などに広げ  
ることで中小企業もS  
LLを活用した環境経  
営ができるようにす  
る。

第1弾としてダイヤ  
モンド電機にリースす  
る自動車部品製造設備  
を対象とした5年間の  
SLL契約を結んだ。  
ダイヤモンド電機の  
親会社であるダイヤモ  
ンドエレクトリックホ  
ールディングス(H  
D)が設定した、事業  
活動に伴うCO<sub>2</sub>排出  
量削減、CO<sub>2</sub>削減に  
寄与する自社製品の販  
売目標に連動したCO<sub>2</sub>  
削減貢献量という二  
つの指標をサステナビ  
リティに設定。年1  
回、この指標の状況を  
把握し、目標を達成し  
ていれば、通常より優  
遇されたリース料金と  
なる。



SLL契約を結んだダイ  
ヤモンド電機本社

今後、自動車や電機、  
電子部品など、  
あらゆる業界で  
CO<sub>2</sub>削減に向け  
り組む企業向け  
にSLLを進め  
る。  
サステナブル  
(持続可能性)  
関連ビジネス  
で、2020年  
度までに累計1  
兆円の契約を目  
指す目標達成に  
つなげる。

日本総合研究所が第  
三者評価機関としてサ  
ステナビリティ・リン  
ク・ローン原則に基づ  
いたSPTsの設定や  
評価を行う。  
SFLLは21年に船  
舶のCO<sub>2</sub>削減実績に  
応じて料金が変動する  
SLLを展開。同社は